

(別紙様式)

教科用図書調査に関する報告書

教科	理科
----	----

発行者 の番号 ・略称	教科書 の記号 ・番号	教科書名	選定員から付された意見
2 東書	理科 701 理科 801 理科 901	新しい科学 1 新しい科学 2 新しい科学 3	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭で探究の流れや教科書の使い方の説明がある。「科学のミカタ」や「学びをいかして考えよう」は主体的な学習につながる。 ・「つながる科学」や「from Japan 世界につながる科学」により、科学を学ぶ意義や有用性を工夫して伝えている。 ・基礎操作や観察・実験の手順が丁寧に記載されている。
4 大日本	理科 702 理科 802 理科 902	理科の世界 1 理科の世界 2 理科の世界 3	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びについて、巻頭で説明されているが、実際の観察・実験のページでは、深い学びにつなげる記載がわかりにくい。 ・「くらしの中の理科」により、理科の有用性が実感できるようになっている。 ・本文などに UD フォントが使用されているが、文字の間隔が小さい。
1 1 学 図	理科 703 理科 803 理科 903	中学校科学 1 中学校科学 2 中学校科学 3	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に学習させるための工夫として、各章の始めと終わりに「Can-Do List」がある。 ・「ミッション X」や「サイエンスカフェ」が掲載され、科学を学ぶ意義や有用性を伝える工夫がされているが、学習内容とのつながりがわかりにくいものがある。 ・本文などに UD フォントを使用し、重要語句や式には振り仮名や単位をつけるなどして、わかりやすい表記になっている。
1 7 教 出	理科 704 理科 804 理科 904	自然の探求 中学理科 1 自然の探求 中学理科 2 自然の探求 中学理科 3	<ul style="list-style-type: none"> ・キャラクターの吹き出しにより、生徒が共に考えを練り上げながら学習することを促す工夫があるが、説明的で自然さに欠ける会話もある。 ・「ハローサイエンス」で科学を学ぶ意義を伝える工夫がされているが、コラム項目が多すぎる。 ・本文などに UD フォントを使用し、重要語句や式は太字のゴシック体で、見やすい表記になっている。

<p>6 1 啓林館</p>	<p>理科 705 理科 805 理科 905</p>	<p>未来へひろがるサイエンス 1 未来へひろがるサイエンス 2 未来へひろがるサイエンス 3</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「話し合ってみよう」「考えてみよう」「表現してみよう」の項目により、主体的・対話的な学びの場面が設定されている。 ・「科学コラム」や「科学史」を掲載し、科学を学ぶ意義を伝える工夫がされている。兵庫県の資料も多く、学習内容を身近に感じられる。 ・文章と挿絵、写真などのバランスが適切で、章末の「学習のまとめ」は見やすい構成である。
--------------------	-------------------------------------	---	---